

新年のご挨拶



公益社団法人
鹿児島県栄養士会 会長

児玉 敬三

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大は、私たち栄養士会にとっても、様々な事業の中止が迫られた未だかつて経験したことのない事態となりました。そんな、先行きが見えない時に、鹿児島市医師会の先生方よりいただきましたご助言、ご協力の一つ一つのお陰様で今日を迎えられたこと改めて感謝申し上げます。

新型コロナ感染拡大が鹿児島市民にもたらしている社会的、経済的、肉体的、精神的な影響は計り知れないものとなっております。同時に感染症の脅威は、「自助」・「共助」・「公助」についての再考を促し、「自助」としての「手洗い」「うがい」「換気」「予防接種」などの予防行動が生活の中で習慣化されつつあることも確かです。

私たち管理栄養士・栄養士にとっても対人サービスとしての保健指導や栄養指導、病院や施設での給食管理業務において感染対策は最優先のテーマとなりました。そして、対策の中で考案されたWEB会議システムでの遠隔栄養指導やウイルスの侵入ルートチェック体勢が急速に整備されつつあります。

今後は、様々な感染症を想定した「食事環境」の提案と日常生活の中で実践できる「免

疫力を上げる食習慣」の情報を発信し続けます。また、生活習慣病の重症化予防に対する栄養指導のスキルアップと多医療職連携のためのシステム整備に努め地域包括医療の一翼を担えるよう会員一同努めて参ります。

ウィズ・コロナ、アフター・コロナの時代へ向けて、一層のご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。